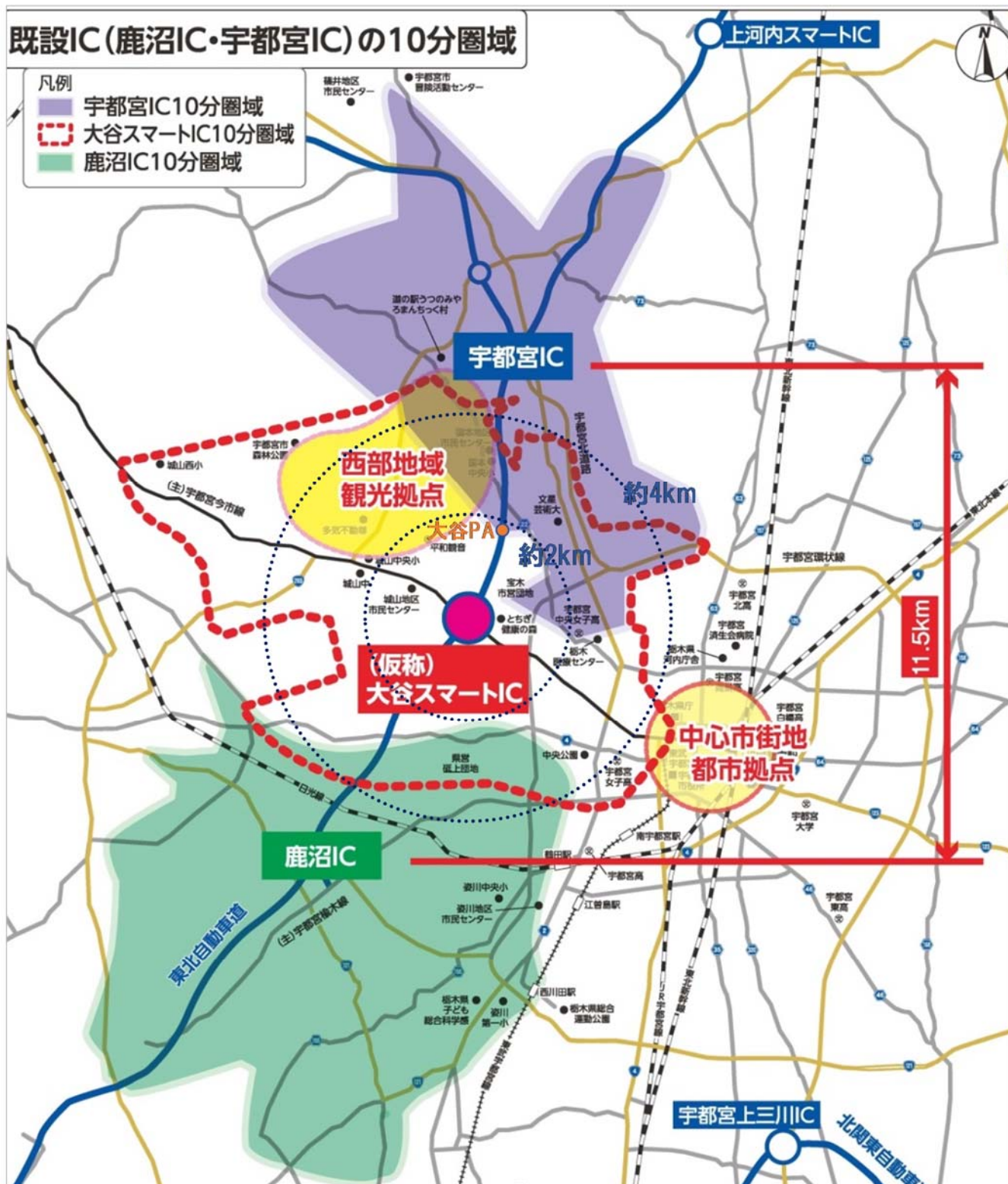


開通により期待される主な効果

(1) 高速道路を利用される方の利便性が向上

- 利用圏域※) が最も拡大し、地域の皆様の高速道路の利用環境が向上
- 中心市街地や大谷地域へのアクセスが格段に高まることで来訪者の利便性も向上

※利用圏域：インターチェンジまで10分で行き来できる範囲



開通により期待される主な効果

(2) 高速道路の利便性向上による地域振興 ～中心市街地（都市拠点）へのアクセス向上～

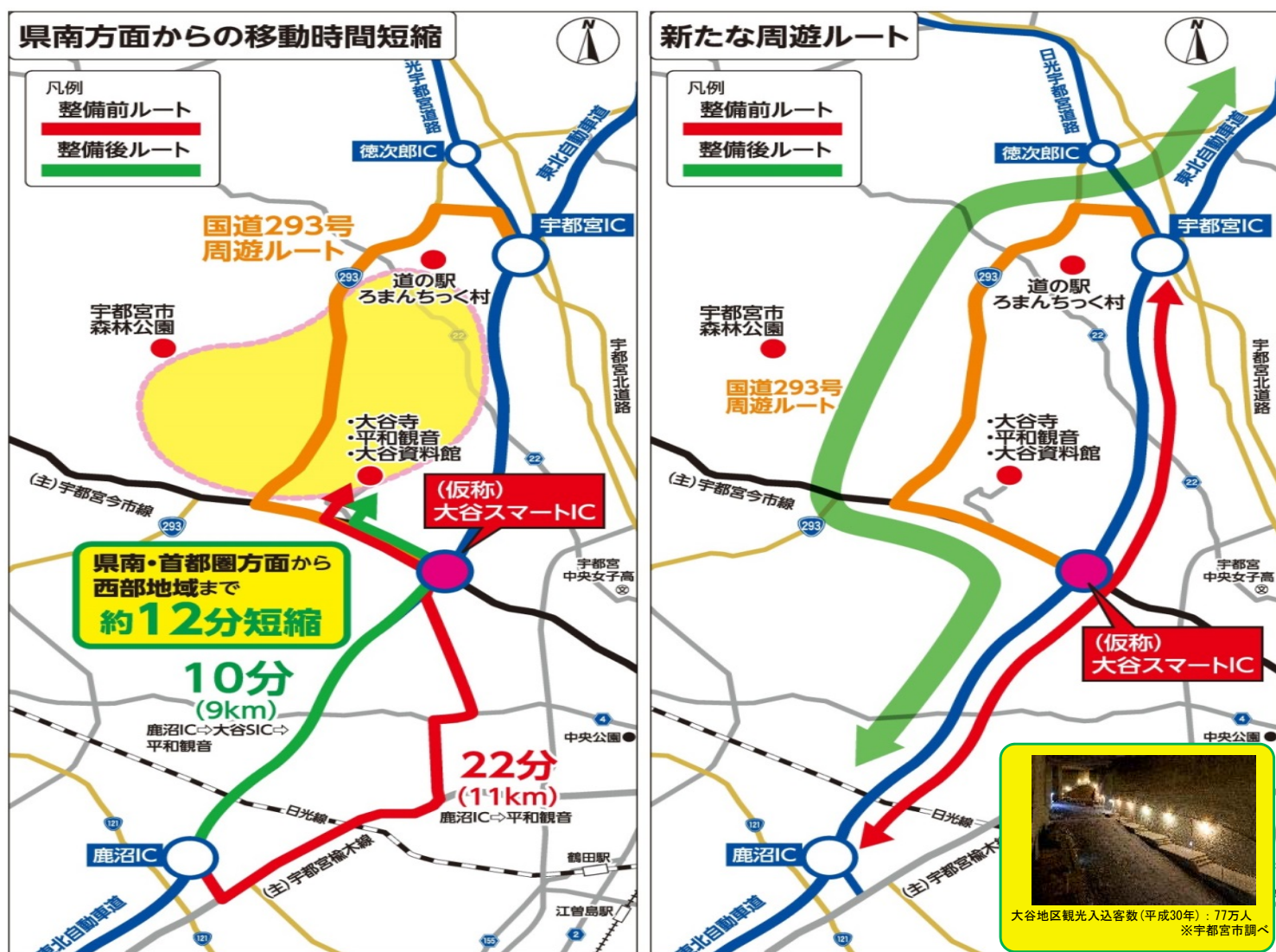
- 中心市街地への所要時間が県南・首都圏方面から約8分、県北・東北方面から約7分短縮するなど、高速道路を利用する来訪者のアクセスが向上することから、更なる観光客やビジネス客の利便性向上が見込まれることにより中心市街地の活性化が期待できる。



開通により期待される効果

(2) 高速道路の利便性向上による地域振興 ～西部地域（観光拠点）の観光振興～

- 大谷エリア（平和観音）への所要時間が県南・首都圏方面から約12分短縮するなど、西部地域への観光客のアクセス性が向上。
- 国道293号などを利用した新たな観光周遊ルートが形成できるため、さらなる観光振興が期待される。



※所要時間：平成22年道路交通センサスの12時間平均旅行速度より計測

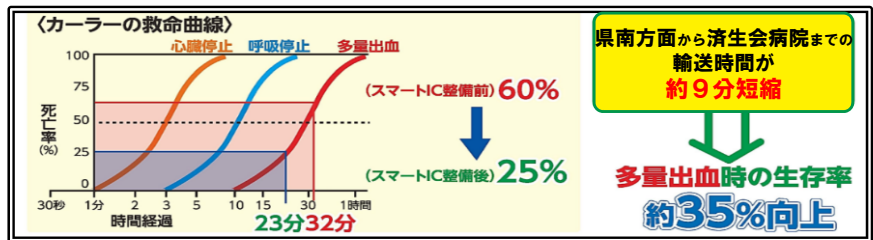
開通により期待される効果

(3) 救急救命活動の支援 ～救急活動・救急医療施設への時間短縮～

- 三次救急医療施設である「済生会宇都宮病院」への所要時間が県南方面から約9分短縮され、また、多量出血時の生存率が約35%向上するなど、救急救命活動に大きく寄与。



- 初期救急（休日夜間急患センター）
宇都宮市夜間休日救急診療所
- 二次救急（病院群輪番制病院）
国立病院機構栃木医療センター
済生会宇都宮病院
地域医療機能推進機構うつのみや病院
国立病院機構宇都宮病院
宇都宮記念病院
- ◎三次救急（救命救急センター）
栃木県救命救急センター
（済生会宇都宮病院）

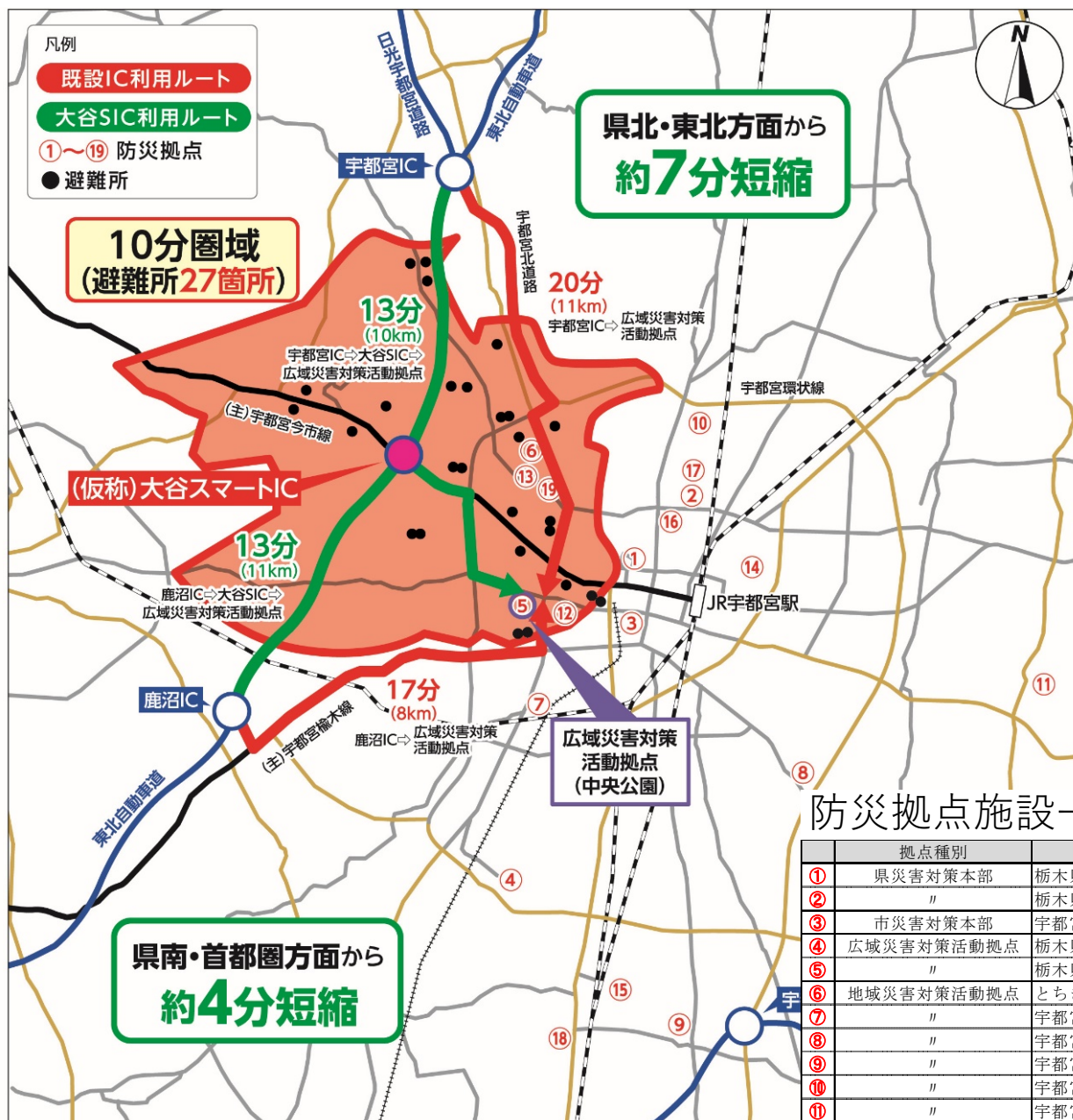


開通により期待される効果

(4) 防災機能の強化

～救援活動・緊急物資輸送の迅速化～

- 広域災害対策活動拠点である「栃木県中央公園」への所要時間が県南・首都圏方面から約4分、県北・東北方面から約7分短縮し、また、(仮称)大谷スマートIC10分圏域内の防災拠点が5箇所、避難所が27箇所になり、高速道路からのアクセスが向上するため、災害発生時の救援活動・緊急物資輸送の迅速化が期待できる。



防災拠点施設一覧表

拠点種別	施設名
① 県災害対策本部	栃木県庁
② "	栃木県河内庁舎
③ 市災害対策本部	宇都宮市役所
④ 広域災害対策活動拠点	栃木県総合運動公園
⑤ "	栃木県中央公園
⑥ 地域災害対策活動拠点	とちぎ福祉プラザ
⑦ "	宇都宮高等学校
⑧ "	宇都宮東高等学校
⑨ "	宇都宮南高等学校
⑩ "	宇都宮北高等学校
⑪ "	宇都宮清陵高等学校
⑫ "	宇都宮女子高等学校
⑬ "	宇都宮中央女子高等学校
⑭ "	宇都宮白楊高等学校
⑮ "	宇都宮工業高等学校
⑯ "	宇都宮商業高等学校
⑰ 医療活動拠点	済生会宇都宮病院
⑱ "	地域医療機能推進機構うつのみや病院
⑲ "	国立病院機構栃木医療センター

※所要時間：H22道路交通センサスの12時間平均旅行速度より算出
 ※高速IC10分圏域：H22道路交通センサスの12時間平均旅行速度より計測